

自治体概要

人口 11,510人
 高齢化率 30.0%
 面積 44.55km²
 小学校 2か所
 中学校 1か所
 令和5年7月31日現在

【目指す地域像と4つの“場”】

- ◎小規模単位（町域＝中学校区、100世帯以下の自治会多数）を活かした、“**支え合いの場**”
- ◎農（農地、農村文化）を活かした、食、つとめを通した“**おすそ分け**”と“**活躍の場**”
- ◎直営での一次相談機能を活かした、相談を“**丸ごと受け止める役場**”
- ◎顔の見える関係の中で、他者と思いが分かちあえる、“**交流の場**”



取組内容

◎小規模単位を活かした、支え合いの場

- ・自治会の中で地域課題を話し合う場づくり 【地域づくり】
- ・アフターコロナ期の集いの場の再開支援 <新規> 【地域づくり】
- ・地域一体での災害時の個別支援の検討 <新規> 【地域づくり】

◎農を活かした、おすそ分けと活躍の場

- ・農園でのひきこもり者のボランティア受け入れ 【参加支援】
- ・農村型フードドライブの実施 【生活困窮者等支援のための地域づくり】



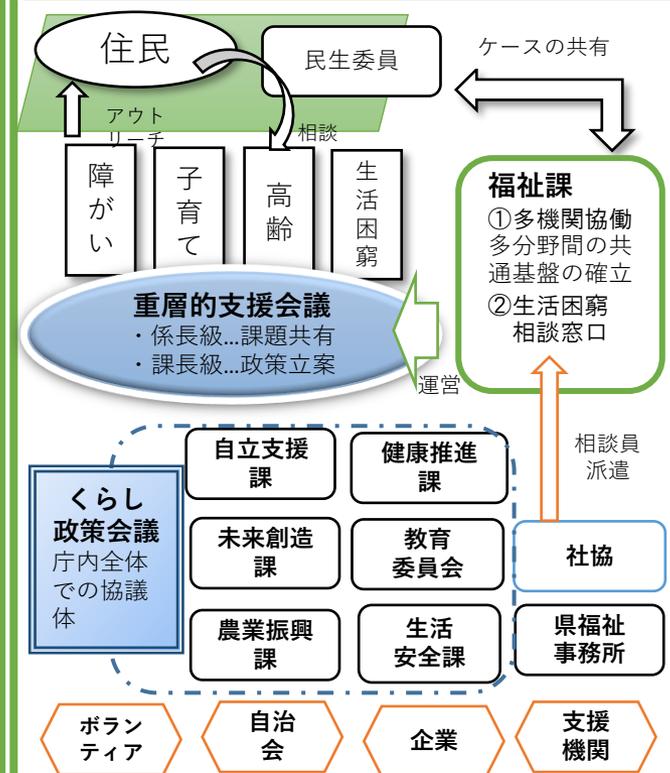
◎一次相談機能を活かした、相談を丸ごと受け止める役場

- ・民生委員が気になるケース（ひきこもり等）を共有する場の設定 【アウトリーチ・包括的相談支援事業】
 - ・社協職員の派遣による行政での生活困窮の総合的な相談対応 【福祉事務所未設置町村の生活困窮一次相談】
 - ・各分野の制度、ノウハウを学びあう機会の確保 <新規> 【多機関協働】
→トータルアセスメント力向上研修の開催
 - ・官学連携による多職種連携の強化のための研究 【多機関協働】
 - ・少子高齢・人口減少社会での課題を庁内全体で共有、協議する
くらし政策会議の開催 <新規> 【多機関協働】
- ※その他、ワンストップ窓口体制に向け、福祉部門の庁舎への集合配置を検討

◎他者と思いが分かち合える、交流の場

- ・若年層が集い、活動できる場の自立支援ルームの運営 【参加支援】
- ・行きしぶりの子どもへの個別フォロー、参加できる場の提供 【参加支援】
- ・障がい相談支援事業所による障がいサービス未利用者への訪問 【アウトリーチ】

連携強化のための体制



◆重層的支援体制整備事業の位置付け

- ①地域福祉計画に重層の方向性、関連する取組を位置付け
- ②庁内重点プロジェクトに位置付け